

1 単元名 Hi, friends 2 Lesson 8 「What do you want to be?」

2 単元について

本単元では、「I want to be a ○○.」という表現や職業を表す単語を扱う。これを使って児童が「将来なりたいもの」についての表現に慣れ親しむことをねらいとしている。児童は今までに Hi, freinds 1 Lesson 6 「What do you want?」及び Hi, freinds 2 Lesson 5 「Let's go to Italy.」において、自分の欲しいものや行きたい場所について表現する音声に慣れ親しんできている。日常生活の中で、相手の思いを聞き取ったり、自分の思いを伝えたりすることは、コミュニケーションを図る上で大切なことである。この単元では、友だちの夢を聞き取ったり、自分の夢を伝えたりする活動を通して、主体的にコミュニケーションをとる力を育てていきたい。

児童は今までの経験から、たくさんの職業を知っており、ある程度の知識をもっていることから、本単元は児童にとって親しみやすい単元であると考えられる。また、「ポリス」や「ドクター」のようにカタカナ語として身近に定着している職業もある。それらのカタカナでの発音と英語での発音の違いに気付かせることのできる単元でもある。

職業の表現に親しむ中で、地域社会にはたくさんの職業があり、様々な人々に支えられて生活が成り立っていることを考えさせたい。また小学校第5学年は、卒業を来年に控え、自分の将来について漠然とながらも想像を膨らませる時期でもある。この単元を通して、自分の将来就きたい職業や憧れについて考えさせる機会としたい。

3 児童の実態について

本校は、文部科学省から「英語教育強化拠点事業」により小学校における英語の教科化についての研究開発校の指定を受けている。英語教育を中心としたコミュニケーション能力の育成を目指し、研究を進めて2年目となる。今年度は、低学年は年間10時間程度、中学年は週1時間の外国語活動、5年生は外国語活動と教科型の英語をそれぞれ週1時間ずつ、6年生は週2時間も教科型の英語の学習を、担任主導で行っている。

本校では「ことばの学び」は、まず音声に慣れ親しみ、蓄えることが大切であると考え、どの学年においても音声を聞かせることに重点をおいて学習を進めてきている。各単元において、ねらいとする表現を、意味のある文脈の中で何度も繰り返し聞かせることで、児童はたくさんの英語の表現に慣れ親しんできた。児童が表現に十分に慣れ親しんでいない段階で、無理に話させることはしない。音声に十分に慣れ親しませることで、英語で話されていることの内容を類推しながら聞く力も育てられてきている。英語を「ことば」としてきちんと使いながら、コミュニケーションを図ることの楽しさを感じさせられるような授業の展開を目指している。

このような研究を進める中で、はじめは英語での質問に日本語で答えていた児童

も徐々に英語の単語で答えるようになり、文章で答えようとする児童も現れてくるようになった。音声を大切にしながら繰り返し聞かせることの成果を感じている。

本単元では、授業のウォームアップとして「Sit Down Game」を行う。担任と児童のやりとりにおいて、職業を表す単語を繰り返し聞かせていく。歌の時間には、「The Farmer in the Dell.」を聞かせながら「何が、何回聞こえたか」等の質問をすることで目的意識をもって聞くように仕組み、英語独特のリズムや音のつながりに慣れ親しませたい。Main Activity では、教職員の子供の頃の夢をクイズにするなど、児童の興味を引く内容を扱いながら「I want to be a ○○.」の表現を聞かせていく。児童にとって「I want ～.」が何かの要求であることは何となく分かっても、「I want to be a ○○.」という表現には初めて出会うことになる。そこで、学級担任や身近な大人を例に挙げながら英語の意味を考えさせていきたい。

外国語活動のみならず、どの教科においても、学級経営を基盤とした「聞くこと」を重視した授業展開をすることで、他の児童の意見に耳を傾ける気持ちを育てていきたい。また、自分の意見を恥ずかしがらずに言うことができる雰囲気、人間関係づくりに努めていきたい。

4 単元のねらいと評価規準

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
単 元 の ね ら い	積極的に自分の将来の夢について交流しようとしている。	どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりしている。	世界には様々な夢をもつ同年代の子供たちがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付いている。
評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来の夢について語ろうとしている。 自分の将来の夢がはっきり伝わるように目を見て話したり、積極的に友達の話の話を聞いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な職業の英語での表現の仕方に慣れ親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職業を表す語について英語と日本語の共通点や発音の違いに気付いている。 世界には様々な夢をもつ同年代の子供がいることに気付いている。

5 単元の指導計画・評価規準（4時間扱い）

時	○目標 ・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	<p>○様々な職業の言い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit down game • Song • 先生の夢 • Hi, friends 2 (Let's listen) 		○		<ul style="list-style-type: none"> • 様々な職業の英語での表現の仕方に慣れ親しんでいる。 	<p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
2	<p>○職業を表す語について英語と日本語の共通点や発音の違いに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit down game • Song • これは誰の夢？ • アニメの登場人物の将来は？ 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 職業を表す語について英語と日本語の共通点や発音の違いに気付いている。 • 様々な職業の言い方に慣れ親しんでいる。 	<p>〈行動観察・振り返りカード点検・分析〉</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検・分析〉</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検・分析〉</p>
3 本時	<p>○自分の将来の夢について語ろうとしている。</p> <p>○就きたい職業について、尋ねたり答えたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit down game • Song • これは誰の夢？ • 将来なりたいものは？ • 文字遊び 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> • 自分の将来の夢について語ろうとしている。 • 就きたい職業について、尋ねたり答えたりしている。 	<p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>○世界には様々な夢をもつ同年代の子供がいることに気付く。</p> <p>○相手意識をもって自分の夢を紹介しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit down game • Song • Hi, friends (Activity) • 友だちに将来の夢を聞いてみよう。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> • 世界には様々な夢をもつ同年代の子供がいることに気付いている。 • 自分の将来の夢がはっきり伝わるように目を見て話したり、積極的に友達の話の聞いたりしようとしている。 	<p>〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検・分析〉</p> <p>〈〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6 本時のねらい

- ・自分の将来の夢について語ろうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・就きたい職業について、尋ねたり答えたりしている。【外国語への慣れ親しみ】

7 本時の展開（第3時／4時間）

過程	児童の活動	教師の働きかけ		◇指導上の留意点 ◎評価【観点】〈方法〉	資料	時間
		HRT	ALT			
ウォームアップ	1 挨拶をする。			◇自然に気持ちよく挨拶させる。		2
	<p>HRT : "Let's start today's English lesson." JTE・ALT: "Good morning(Hello),Everyone. How are you?" 児童: "I'm fine, thank you ,and you?" JTE・ALT: "I'm fine, thank you." ~</p>					
	2 Sit down game をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に答えられた児童から座らせる。 ・宮代町の写真を見せながら聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・"What job do you see in Miyashiro town?" ・"Oh, you see a doctor in Miyashiro." ・"OK! Sit down." 	◇児童の答えは日本語であっても、それをHRT・ALTは英語で繰り返して聞かせる。	写真 職業 カード	8
3 The farmer in the dell を 歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し何度も聞かせる。 ・児童に聞こえた言葉を尋ね、その言葉を板書（線や記号や絵で）していき、歌の流れを視覚でとらえさせる。 	児童と共に歌う。	◇歌詞に着目させたり、交互に歌ったりしながら、何度も聞かせることで音声やリズムに慣れさせる。	CD	5	
4 Main 1 「これは誰の夢？」 (先生のなりたかったものクイズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の子供のころの夢を言う。 ・どの先生の夢か予想させる。 ・繰り返し何度も聞かせる。 	"He wanted to be a Kamen Rider. Because he likes heroes." "Who is he?"	◎どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりしている。【外国語への慣れ親しみ】〈行動観察〉		8	

レッスン・チャレンジ	5 Main 2 「将来なりたいものは？」	・将来なりたいと思っている職業や憧れの人を一人一人に聞いていく。	・“What do you want to be?” “You want to be a soccer player.”	◇じっくり何度も聞かせる。 ◎自分の将来の夢について語ろうとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】〈行動観察〉	職業カード	15
	6 Main 3 文字遊び Word Book でページ探しをしよう	・Word Book を見て、そのページに見えるものを言い、どのページを見ているか当てさせる。	・“I can see a ○○.”	◇職業に関係する単語を多く聞かせるようにする。	Word Book	3
トップ・オフ	7 振り返りを行う。	・慣れてきたことや気付いたこと等で振り返りの文章を書かせる。	・振り返りシートを配る。	◇慣れてきたことについて、または感想や気付いたこと等を書くように指導する。 ◎自分の将来の夢について語ろうとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】〈振り返りシート点検〉 ◎どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりしている。【外国語への慣れ親しみ】〈振り返りシート点検〉	振り返りシート	3
	8 挨拶をする。			◇元気な声で挨拶をさせる。		1
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>HRT : “That’s all for today’s lesson !” 児童 : “Thank you , ○○先生.” HRT : “Thank you.” 児童 : “Thank you , ○○先生.” JTE・AJT : “Thank you. See you next time.”</p> </div>						